



# 命を守るために

命を守る最前線。

その現場に向き合う人々が

伝えたいこと。

私たちが知るべきこと。

市内には消防や救急の現場で日々奮闘している人たちがいます。今回の特集では、火災や事故現場へ出動する救助隊員、通報を受け付ける消防指令管制員、重篤な患者を受け入れる救命救急センターの医師ヘインタビュー。命の大切さや、私たちにできることは何かをあらためて考えます。

【詳細】消防に関する情報は消防局総務課☎210、救命救急センターに関する情報は市立札幌病院総務課☎(26)2211



**853人**  
市立札幌病院救命救急センターの  
年間患者受け入れ数  
※平成29年度中

**3分56秒に1件**  
119番通報の状況  
※平成29年中

**7,083件**  
消防隊の年間出動件数  
※平成28年中

**1,477件**  
救助隊の年間出動件数  
※平成29年中

# 特別高度救助隊

## 専門知識、高度な技術、経験を生かして 全力で人命救助に当たります。

そごう とし あき  
**十河 敏明**

中央消防署 特別高度救助隊長



大規模災害や前例のない事故に  
対応する知識・装備を有する部隊  
市消防局には現在約200人の救  
助隊員がいて、そのうち大規模  
災害や、有毒ガスによるテロな  
どの特異災害に対する知識と技  
術を持つ隊員21人で特別高度救  
助隊を編成しています。私はこ  
の隊を率いて3年目になります



が、山や川、住宅街などあらゆる  
現場で救助を行ってきました。  
2年前に市街地で発生した  
市電と乗用車の衝突事故は、過  
去に同様の事例がなかったた  
め、特に印象に残っています。  
現場でまず目に飛び込んできた  
のは、事故の衝撃で半分以上つ  
ぶれた車の運転席と車内にいる  
運転手。意識はあるものの、座  
席と車体に足が挟まって動け  
ず、さらに見えない部分で、破  
損した車が運転手の体を傷つけ  
ている可能性もありました。駆  
け付けた医師や救急隊員と連携  
して、大量出血や容態が急変す  
る危険性は低いと判断。救助資  
機材を使って車体を変形させ、  
運転手を車外へ救出しました。  
私たちは、火事や事故の現場  
被災地などで、自分の命さえも  
危険にさらされることがありま

市民の方の協力を得て、  
助けられる命がある、  
多数の負傷者が出る大規模災  
害が発生した場合、皆さんの協  
力や住民同士の助け合いが不可  
欠です。地域の防災訓練への参  
加、災害時の集合場所や連絡の  
取り方を家族で決めておく。  
こうした備えが、素早い避難や  
被害の軽減につながり、より多  
くの命が助かることになると感  
じます。



事故現場では市電の電力を切り、安全を確保しながら救出が行われた

### 水流で壁や柱を切断するウオーターカッター車

中央消防署には道内で唯一、細かい砂を混ぜた水を噴射する勢いで、鋼材やコンクリートを切断できるウオーターカッター車を配備。使用中に火花が発生しないので、可燃性ガスが充満した現場でも使用できるほか、霧状に噴射すると少量の水で消火できるなどの利点を生かして活躍しています。



1日約360件寄せられる通報に  
一秒でも早く対応  
私たち指令管制員の仕事は、  
1日13人体制で、市内から通報  
された全ての火災・救急・救助  
の119番を24時間受け付け、現場  
に一番近い救急隊・消防隊を出  
動させることです。困っている  
方の連絡を最初に受ける場所だ  
るため、まずは落ち着いても  
らえるように相手の心情に寄り  
添いながらも、必要な情報を聞  
き出し、正確に消防隊・救急隊  
に伝えることを心掛けていま  
す。このほか、救急隊や消防隊  
が到着するまでの間に、私たち  
が心臓マッサージの方法や  
AEDの使い方、止血方法や

正面には、60インチの大型液晶画面を20面配置。  
車両の位置や気象情報が常時表示されている

## 消防指令管制員

# 2



けどの対処法を口頭で指導し、  
実践してもらうこともありま  
す。ここでの勤務は今年で5年  
目になりますが、今では、通報  
者の声色で、どのくらい深刻な  
状況なのか分かるようになりました。  
中には、小さな子ども  
の事故や心肺停止になる直前の  
通報もあり、心が痛むこともあ  
りますが、だからこそ、一秒で  
も早く電話に出て命をつなぐた  
めに、勤務中は通報を受け付け  
るボタンから指を離さないよう  
にしています。



「119番通報では  
「住所」から伝えてほしい  
消防車や救急車は、住所や正  
確な場所が分かっていた時点で、内  
容を聞く前に出動を開始してい  
ます。真つ先に状況を伝えたく  
なるかもしれませんが、実は最

## 助けを求める方の状態を 瞬時に把握し、的確に 消防隊や救急隊へつなぎます。

いとう ともひと  
**伊藤 智仁**

消防指令管制センター 指令管制員

### 高所監視カメラで火災や事故の現場を撮影

中央区大通西4丁目のビルの上、地上約130メートルの位置に設置されたカメラは、最大124倍ズームで市街地の約90%を撮影可能。リアルタイムで現場の状況を撮影し、出動中の車両へ画像を転送することができます。



### 豆知識

#### 通報を受け付ける回線は最大で24回線

救急隊・消防隊の出動状況や地図などを表示する3つの画面を使って出動指令を行います。災害時など特に多くの通報が寄せられる場合は最大24回線まで受け付けが可能です。



# 3

## 救急医

救命救急は究極のチーム医療。  
多くの命を救うために  
チーム全体で患者と向き合います。

医師一人で救える命はない。  
チームで救う

救命救急センターでは、救急車やドクターヘリから年中無休で重症患者を受け入れています。センターの中には、初期対応を行う救急外来と、その後の治療を行う集中治療室があるんです。ここで働く私たち救急医が一般の医師と違うところは、患者さんから直接話を聞いて診察するのではなく、時には名前も年齢も過去の病歴も分からない、今にも心臓が止まってしまいそうな患者さんの状態を即座に把握し、治療を始める必要があります。一分一秒を争い、常に冷静な判断が求められる、



食べることが好きだという提鳴医師。北海道フードマイスターや日本さかな検定3級を持つ意外な一面も



市立札幌病院 救命救急センター医師  
さげ しま ひさこ  
提鳴 久子

志しました。救急医になつてから、自転車であつてハンドルがおおなかに当たった子が、救急搬送されてきたことがありました。肝臓が裂けて血圧も低く、これ以上動かすと状態を悪化させると判断し、そのまま緊急手術を行ったんです。「絶対に元気な状態にして家族のもとに帰すんだ」という思いで治療し、一命を取り留めたときには本当にうれしかったです。救急医だからこそできた治療でもあったので、忘れられません。

病院嫌いな方こそ  
定期的な健診を

救命救急センターに運ばれて、

現場だからこそ、救急隊員、看護師、薬剤師ら、治療に関わるチーム全員で最善の選択をできるようにしています。医師一人では患者さんは救えません。チームの協力があるからやっつけていけるのだと思っています。

子どものことなら  
何でも診てあげたいという  
思いが救急医の第一歩

子どもが好きなのは最初、子どもの風邪などを診る小児内科の医師になりました。内科医として働く中で、やけどもけがも、子どものことなら何でも対応できるようになりたいと思い始め、救急医を



緊急手術にも対応できる救急外来。手術は年間およそ300件行われている



くる患者さんの中には、定期的な健診を受けていなかったために高血圧や糖尿病が重症化し、ずっと入院することになる方もいて、とても残念に感じます。病院嫌いな方こそ、普段から定期的に健診を受け、何かあったら相談できる、かかりつけ医を持つことが大切です。そのほか、倒れている人を見つけたときの応急処置の方法は、講習などででも気軽に学ぶことができます。とっさの対応を知っておくことが、家族や大切な人を守ることにつながりますよ。

命の大切さ——普段の何気ない暮らしの中で、考える機会はいくらでもあります。しかし、突然の事故や災害、病気が誰にでも起こり得るもの。そんなときに命を未来につないでいくためには、命とひたむきに向き合う人々と、私たちの普段からの備えが欠かせません。今日からできることを、この機会に始めてみませんか。

命を守ることに  
全力を注ぐ人々の存在と  
私たちの日頃の備えが  
かけがえのない命を守る

命の大切さ——普段の何気ない暮らしの中で、考える機会はいくらでもあります。しかし、突然の事故や災害、病気が誰にでも起こり得るもの。そんなときに命を未来につないでいくためには、命とひたむきに向き合う人々と、私たちの普段からの備えが欠かせません。今日からできることを、この機会に始めてみませんか。

### 【消防団員を募集しています】

地域住民の安全と安心を守るため、災害時に消防隊と共に活動をしたり、応急手当で指導や火災予防のための広報などを行ったりする消防団員。地域で約2,000人が活躍しています。対象市内に居住・通学しており、18歳以上で心身ともに健康な方申し込み先お住まいまたは通学先がある区の消防署

### 【命を守るための方法を学べます】

#### 赤十字救急法基礎講習

心肺蘇生法、AEDの使い方などを学びます。  
日時6/23(土)9時～15時30分  
場所赤十字会館(中央区北1西5)  
対象15歳以上の方30人  
費用1,500円  
申し込み往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、生年月日、電話番号、学校名・学年(生徒のみ)、講習コード番号「0623」、返信先を記入し、5/31(木)(消印有効)までに日赤札幌市地区本部(市役所内/1ページ)へ。抽選  
問い合わせ日赤札幌市地区本部 ☎211-3339

#### 豆知識



知っていますか？  
医師を乗せて現場に向かう  
ドクターカー

生命の危機が迫っている場合や事故などで救出に時間がかかる場合は、市立札幌病院に隣接するワークステーションから救急医がドクターカーで駆け付け、現場で治療を行うことも。救急医が持つバッグには、氣道を確保する挿管セットや薬品、注射器など約50種類が装備されている。

